

よろず支援拠点だより <83>

まちを発展させるかが重要なテーマ

わかやま新報の読者の皆さま、こんにちは！

和歌山県よろず支援拠

点コーディネーターの矢

椋です。私が今の仕事を

始めて7年目になります

が、今まで本当に多くの

事業者さまからさまざま

な相談を受けてきました

た。振り返ってみて強く

印象的に残っていること

の一つが、多くの相談者

が「地域の活性化」「地域

貢献」について熱く語っ

てくださることで。地

方で事業を行う上で自社

の商売の成功はもちろん

ですが、多くの経営者の

皆さんが「自分の生まれ

た町に少しでも貢献した

い！」という強い思いを
持たれていることはうれ
しい限りです。

とはいえ現在、全国各

地域の「まち」は、人口

減少や高齢化の進展によ

る疲弊に加え、新型コロ

ナウイルスの影響による

経済的な打撃も強く受け

られております。それぞ

れの地域において、自分

たちのよりどころとする

「まち」をどのように発展

させていくかは、今後の

地域活性化において重要

なテーマかと考えます。

先日、本紙1面でも和

歌山大学副学長である足

立教授が、「新型」コロナとま

ちづくり」という新刊本を

出した旨を大きく取り上
げておりました。記事に
は「コロナ禍の今だから
こそ地元重視の『ローカ
ルフアースト』を一人ひ
とりが意識する必要があ
る」とありますが、本当に
その通りかと考えます。

また、本の中で足立教授

は、県内の事例として「脱

3密時代のまちづくりイ

ベント」を取り上げてい

ます。この事例は、昨年6

月に理美容用ハサミメー

カーの(有)菊井鋏製作所(和

歌山市、菊井健一社長)が

主催したイベント「あおぞ

ら美容室」について書かれ

ています(本紙でも記事

にしていたきました)。

社長の菊井さんとは長

い付き合いで、いろいろお

手伝いさせていただいで

おりますが、今回の件はま
るで自分のことのように
うれしく思います(同イベ
ント関連では私は何もやっ
てないですが、ちよつと自
慢したくなりました)。

足立教授の新刊本(晃洋

書房)にご興味のある人

は、ぜひご購入ください。

和歌山県よろず支援拠点
和歌山市本町二丁目1番地
フォルテワジマ6階
URL <http://yorozu.yarukiouendan.or.jp/>
TEL 073・433・3100

